美術Ⅰ

科目ナンバリング　ARL-101
【Ⅲ】　選択　2単位

鎌田　純子

1. 授業の概要（ねらい）

主に日本の美術に親しむための授業です。春期は、奈良、平安時代を中心に、毎回厳選した日本美術作品を紹介します。限られた作品を深く、多角的に読み解くことで、作品そのものの魅力はもちろんのこと、作品がつくられた時代の技術や文化の特徴、歴史的背景も学べる内容を目指します。また折にふれ、美術館や博物館で開催されている展覧会を紹介し、受講生が積極的に実作品に触れる機会を増やしたいと思います。

2. 授業の到達目標

受講生が自ら美術品の展覧会に行く機会が増えることと、授業で取り上げる作品の中から好きなものや興味を抱く時代を見つけ、それについて解説できること。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験をもとに評価します。

4. 教科書・参考文献

参考文献
辻惟雄　『カラー版　日本美術史』　美術出版社

5. 準備学修の内容

ジャンルは問わず、積極的に美術館、博物館に行き、美術作品を鑑賞すること。

6. その他履修上の注意事項

授業の理解度や興味を確認するため、授業中にリアクションペーパーを配る時があります。

7. 授業内容

【第1回】　授業の内容と進め方などの説明
【第2回】　縄文時代、弥生時代の土器
【第3回】　仏像（飛鳥・白鳳・奈良時代）①
【第4回】　奈良時代の絵画
【第5回】　正倉院宝物
【第6回】　密教美術①絵画
【第7回】　密教美術②彫刻
【第8回】　平安時代の建築
【第9回】　絵巻（平安時代①）
【第10回】　絵巻（平安時代②）
【第11回】　料紙装飾
【第12回】　仏像（鎌倉時代）
【第13回】　肖像画
【第14回】　絵巻（鎌倉時代）
【第15回】　まとめと試験